

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
研究法概論		選択	1	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
稲場 直子		naoko.inaba	水曜日 13:00~15:00 Teams 受付を原則とする		
授業の目的・概要	「根拠に基づく医療」の実践には、医療者自らが基礎的研究によって得られたデータを検索・精査し、医療行為の客観的意義と根拠を正しく理解する必要がある。したがって本科目では、研究の必要性を理解したうえで、研究に関する専門用語、統計処理法、研究デザイン法、臨床研究における倫理規範など研究実践に必要な知識を習得し、「医学的根拠」を適切に活用するための基本的技能を身につけることを目的とする。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 (	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク         )
学習上の助言	毎回の講義内容をきちんと復習して次回の講義に備えること。講義では資料を配布するが復習は配布資料だけに頼らず必ず教科書に基づいて学習すること。 履修にあたり、事前に「統計学」を復習しておくことが望ましい。				
教科書	最新 理学療法学講座 理学療法研究法 /編著:対馬栄輝 /医歯薬出版				
参考書	「統計学」で使用した教科書				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	研究の必要性を理解し、「根拠に基づく医療」の実践の重要性について説明できる。			HSU(1)~(5)、OT(1)~(3)	
②	研究デザインの分類について理解し、簡単な研究計画を立案できる。				
③	基本的な統計処理法を理解し、説明できる。				
④	研究の基本的倫理について理解し、臨床研究に向け実践的な行動がとれる。				
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	第1章 研究とは？なぜ研究が必要なのだろう 第2章 研究デザインの基礎知識 について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当箇所について予習・復習する。	1	
2	第3章 文献を探す方法 第4章 研究計画の立て方とバイアスの考慮 について学ぶ。			1	
3	第6章 対象を決める・データをとる 第7章 データをとるための実践と統計ソフトの準備 について学ぶ。			1	
4	第8章 統計解析の準備と簡単な検定 第9章 研究解析の実際：2変量解析 について学ぶ。			1	
5	第10章 研究解析の実際：分散分析 第11章 統計解析の実際：多変量解析 について学ぶ。			1	
6	第12章 学会発表に向けて 第13章 論文の執筆 について学ぶ。			1	
7	第5章 倫理申請の要点 第14章 研究不正行為と引用・転載の注意点 について学ぶ。			1	
8	第15章 臨床研究の体験例 について学ぶ。			1	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

達成度評価								
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	定期試験を実施して評価する。評価割合は 100%とする。試験では授業中に取り組んだ課題や小テスト等の内容に基づく応用問題を出題し、理解度を問う。				試験結果の返却とともに、正解を提示する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	教員はシステム神経生理学分野で 20 年以上研究実績を持つ。							
実践的授業の内容	専門性を生かして学生に「根拠に基づく医療」の実践に必要な不可欠な研究法全般の基礎知識と「医学的根拠」を適切に活用するための基本的技能を教授する。							
そ の 他	本科目は Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨する。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスが変更される可能性がある。							